

モンゴル

中期的視点による重点的取組

幅広い分野での人材交流の推進と活力取込の促進

令和4年度の評価

★人材交流の推進と活力取込の促進

○グローバル人材の育成

- ・モンゴル国から39人の高校生を受け入れ、本県高校生と交流。本県との交流の架け橋となる人材を育成

○人的交流による技術支援等

- ・ドルノゴビ県への生活排水処理技術の支援（オンライン研修3回、技術者派遣2回、受入研修2回）により、将来的なインフラ輸出の可能性も模索
- ・セレンゲ県への農業技術の支援（派遣指導1回、受入研修2回）により、現地農業ビジネスの育成に寄与
- ・指導主事交流や行政職員の短期研修受入れによる人的交流

○東京オリパラのレガシー交流

- ・日本・モンゴル外交関係樹立50周年記念事業として、**モンゴル国立馬頭琴交響楽団演奏会**を焼津市で開催（参加者743人）。アンケートでは95%が今後の交流に参加したいと回答するなど、モンゴル国との交流への関心喚起に貢献
- ・モンゴル国ラグビーフットボール協会訪問団を受入れ。女子選手が県内のラグビーチームの練習に参加するなど、東京オリパラのレガシーを継承

○外国人材の受入れ

- ・介護分野の人材不足を踏まえ、本県で介護職として働くことに興味があるモンゴル国の看護師2人を受け入れ、**県内介護施設での実習等**を実施。相互理解の促進と採用に向けた動機付けに寄与
- ・高度人材と県内中小企業との**マッチング会**を開催（申込者154人、参加企業9社、内定者数13人）。県内企業の外国人材採用を支援

現状・課題

★人的往来の再開・活性化

- ・新型コロナによる渡航制限緩和により人的往来が再開
- ・今後の往来活性化に向け、様々な分野での人材交流を推進する必要

★海外からの活力取り込み

- ・介護分野など、人材不足の影響を受ける県内企業支援のために、モンゴル国からの人材受入れ強化が必要
- ・円安による日本の相対的な魅力低下やモンゴル国内の介護の仕事に対する認知度向上が課題

令和5年度の取組

★人材交流の推進と活力取込の促進

○グローバル人材の育成

- ・高校生の相互訪問を再開。高校生に対し、コロナ禍でストップしていた対面による国際交流の機会を提供

○人的交流による技術支援等

- ・重点的に取り組む分野にテーマを定めた**オンライン研修、対面研修**により、モンゴル国の課題に対応できる人材育成を継続
- ・技術者の派遣・受入を含めた、**ドルノゴビ県への生活排水処理技術やセレンゲ県への農業技術の支援**を継続
- ・教員の相互派遣等による人的交流を継続

○東京オリパラのレガシー交流

- ・ホストタウンによる継続的な交流を支援し、県全体でモンゴル国への友好的な環境を醸成
- ・**本県ラグビー関係者のモンゴル国訪問**による交流促進

○外国人材の受入れ

- ・本県で介護職として働くことに興味がある**モンゴル国の人材と県内介護施設とのマッチング会**や**ビジネスインターンの受入**を実施。本県の住環境、利便性等もPR
- ・**モンゴル国の高度人材と県内中小企業とのマッチング会**や**経営者セミナー**を継続し、県内企業の外国人材採用を支援



高校生受入・学校での交流



生活排水処理技術を学ぶ研修生（ドルノゴビ県）



モンゴル国ラグビーフットボール協会訪問団知事表敬



介護施設での実習